

# 夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **義肢装具士**      その仕事や夢を選んだ理由 **義肢装具士の本を読んでから。**

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう

・国家資格・集中力・手の器用さ      ・555万円～  
 ・コミュニケーション能力      (学費など)

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳 小学校	・だれとでも仲良くする・小学校の学習をわけて完遂にする ・小学校生活を最後まで楽しむ・友達と思い出をたくさん作る
13歳 15歳 中学校	・色々な人と関わる・たくさんチャレンジする・部活を真顔にする ・得意科目を増やす・苦手科目を克服する・受験勉強をかまえる
16歳 18歳 高校	・特定の相手をきく・好きな活動に参加して社会貢献をする ・リーダーシップを養う・文武両道を実現する・受験勉強をかまえる
19歳 大学	・国家資格に合格できるようにたくさん勉強する
21歳	・臨床実習にしっかりと取り組むたくさん勉強する
22歳	・大学卒業後、国家資格を取得する
仕事	・義肢装具士の仕事に就いてたくさんの人を救う!
	・一人一人に寄り添って要望をきちんと聞く!
25歳	・色々な種類のその人に合った義足や義手を製作する!

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

・不の保護ボランティア・年をとったら農業をする・親孝行をたくさんする  
 ・おしゃべり家になる・色々な楽器を演奏したい・旅行に行く・人と仲良くする  
 ・ミセスのライブに行く・音楽を聴く・体をたくさん動かす・本をたくさん読む

## 未来の技術と想いを乗せて

前橋市立桃木小学校 六年 岩田 うたな

私の現時点での将来の夢は、義肢装具士です。そう思った理由は、「転んでも大丈夫」と、「義足と歩む」という本を読んで、義肢装具士という職業を知ったからです。人の手や足の代わりとなるものを作ることに興味を持ち、その本に出てきた患者さんの生きる力や生きようとする希望に尊敬したのです。そして、その患者さんに寄り添い、一番近くで支えていた義肢装具士さんのことが、かっこいいな、すごいなと憧れを抱いたのです。加えて、私は、人を助けて人の役に立つことを職業にしたいと思っていたので、私にぴったりだなと思っていました。その上、義肢装具士の需要は多いですが、養成施設が少なく、人数も少ないため、義肢装具士という職業に就いて、その中の一人となり、自分も力になりたいです。

ですが、義肢装具士になることはそれほど簡単なことではありません。国家資

格を取得するために今のうちから勉強することに慣れていき、中学生になったら得意科目と苦手科目をはっきりさせます。得意科目はできるだけ伸ばし、色々なことに生かしていきたいです。逆に苦手科目は、克服できるように、めげずに少しずつ成功を積み重ねて、反復練習に日々努めていきたいです。様々なことに挑戦できるところが、私の強みだと思うので、それも続けていきます。更に、コミュニケーション能力も鍛えなくてはならないため、男女問わず、たくさんの人と関わり、接し方や上下関係なども学んで、多くのスキルを身に付けていきたいです。そして、細かい作業を集中して行う力も高めなくてはならないため、手先を使う趣味などを増して器用さを育てたいです。考えてみると、やるべきことが山積みなので、今からでもできることをすぐに始め、計画を立てながらコツコツと進めて

いきたいです。

もし、義肢装具士になることができれば、パラリンピック選手のスーツ用義肢をより使いやすく、優れた義肢を選手の要望に合わせて、作っていききたいです。また、現代技術を取り入れた、便利な生活を嗜むことのできる義肢や、デザインをもっときれいで美しい、見た目にもこだわった義肢を一つ一つ作ってほしいに作りあげていきたいです。

私は、生きている中で、やってみたいことや、興味のあることが溢れる程あるので、将来の夢も変わるかもしれませんが、しかし、だれかのためを思って人の役に立つ行動をすることは、どの職業においても一番重要なことになり変わりありません。色々なことに興味を持ち、視野を広げ、行動に移すということを自分の人生の目標にかかげ、実践していきます。

\*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。